

令和7年度社会福祉法人 神石高原町社会福祉協議会事業報告

(期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日)

長期化する世界情勢の不安定化は、波紋のように広がり、ついには物価高騰という私たちの生活そのものに『不安』という影を落としています。日本全体も人口減少に加え、広島県においては顕著な若年層の転出。こうした日々の生活のなかで感じる思いは決して一人だけのものではありません。

この厳しい状況下で、神石高原町の福祉ニーズはより切実でかつ複雑なものへと変化しています。これは決して特定の誰かの問題ではなく、この町で暮らす私たち全員にとって、他人事ではない課題です。

令和7年度は、世代や分野にとらわれず、誰もが自分らしく過ごせる『福祉のまちづくり』に傾注してまいりました。住民の皆様、そして関係各位のご支援ご協力のもと実施した取り組みについてご報告させていただきます。

1 会議の開催及び研修会等への参加

- 1) 正副会長会・・・0回
- 2) 理事会・・・3回(6/4・6/27・3/5)
- 3) 評議員会・・・2回(6/26・3/24)
- 4) 監事会・・・1回(5/21)
- 5) 評議員選任・解任委員会・・・1回(6/4)

2 財源の確保

1) 会費

一般会費	2,806世帯	1,403,000円
賛助会費		262,000円

会費は、地区社協助成金、福祉協力校助成金等の地域福祉事業へ活用しました。

3 地域のきずなづくり

1) ふれあいサロン事業の推進

ふれあいサロンとは、少子化に伴う子育て家族の孤立、高齢者の閉じこもり予防や居場所づくりなどを通じて、近隣で支え合える地域づくりを目指して実施

① サロンへの支援

- ◆レクリエーショングッズの貸出
- ◆職員によるレクリエーション
- ◆ボランティア保険(活動保険・行事用保険)への加入手続き

② 新規サロン立ち上げ事業の実施 【新規】1か所

2) 地区社会福祉協議会との連携による小地域福祉活動の推進

地区社会福祉協議会は、住民の主体的な福祉活動の組織化・支援をすすめるための住民による身近な地域活動の基礎となる組織

① 地区社会福祉協議会の助成金と活動内容

NO	地区社協名	会費・寄付金などの 自主財源	共同募金助成金	主な活動
1	油木	200,000	25,000	敬老会、地域活動支援、豆まめクラブ支援
2	安田	125,000	25,000	サロン事業、初盆参り、豆まめクラブ
3	小野	110,000	25,000	サロン事業、豆まめクラブ、敬老会
4	源流の里 しんさか	110,000	25,000	敬老会、安否確認、敬老弁当配布
5	仙養	155,000	25,000	敬老会、高齢者慰問活動、異世代間交流事業
6	田頭	110,000	25,000	敬老会、人権学習会、異世代間交流事業
7	牧	104,330	25,000	敬老会、見守り活動、異世代間交流事業
8	草木	135,000	25,000	異世代間交流事業、年末慰問、健康と福祉の集い
9	福永	121,430	25,000	サロン事業、健康づくり活動、異世代間交流事業
10	高光	110,000	25,000	とんど、人権学習会、サロン事業
11	古川	110,000	25,000	敬老会、サロン事業、高齢者慰問活動
12	相渡	110,000	25,000	敬老会、人権学習会、サロン事業
13	ながの村	110,000	25,000	敬老会、ながの村食堂、サロン事業
14	南	96,500	25,000	敬老会、料理教室、サロン事業
15	上豊松	125,000	25,000	とんど、視察研修、サロン事業
16	下豊松	125,000	25,000	防災訓練、人権学習会、サロン事業
17	笹尾	110,000	25,000	消火・避難訓練、人権学習会、サロン事業
18	有木	125,000	25,000	防災訓練、交流会、サロン事業
19	井関大矢	155,000	25,000	敬老会、防災研修、サロン事業
20	時安	110,000	25,000	防災訓練、人権学習会、サロン事業
21	坂瀬川	110,000	25,000	敬老会、健康知識普及研修会、サロン事業
22	小畠	165,000	25,000	子ども体験学習、研修会、サロン事業
23	上	125,000	25,000	防災訓練、サロン事業、異世代間交流事業
24	高蓋	155,000	25,000	敬老会、サロン事業、異世代間交流事業
25	木津和	104,249	25,000	防災訓練、とんど、サロン事業
26	父木野	110,000	25,000	人権学習会、サロン事業、異世代間交流事業
合計		3,226,509	650,000	

② 広報啓発事業

◆ 広報誌「にじ」の発行：4回（全戸配布）

県内市町社会福祉協議会への配布（県社協を通じて）

◆ ホームページの更新《<http://jk-shakyo.com/>》

内容：令和6年度の事業報告、広報誌、お知らせ等を随時更新

3) 福祉教育推進事業

① 福祉協力校の指定・・・助成金の内 20,000 円は共同募金配分金

NO	学校名	助成金	共同募金配分金	主な活動
1	油木小学校	80,000	20,000	緑化活動、地域の高齢者との交流、油木高校との交流
2	神石小学校	80,000	20,000	地域美化のための活動、ミニコンサート、栽培活動、福祉体験学習
3	豊松小学校	80,000	20,000	栽培活動、清掃活動（豊サポの方と一緒に）、地域の方にはがき送付、福祉体験学習
4	三和小学校	80,000	20,000	環境美化活動、花いっぱい活動、水泳指導
5	来見小学校	80,000	20,000	栽培活動、地域の方とのふれあい活動
6	神石高原中学校	80,000	20,000	リサイクル活動への参加、福祉体験学習、シルトピア油木訪問・交流
7	三和中学校	80,000	20,000	美化活動、伝統芸能継承、ほんまもん体験、学校行事を地域へ発信、地域行事への参加
8	油木高等学校	—	—	—
合計		560,000	140,000	

② 福祉体験学習

◆各学校において福祉教育メニューの中から選択してもらい、社協が講師の調整等を行い各学校で実施したもの。

NO	実施日	学校名	参加学年	体験内容
1	5月13日	油木小	3年生	車いす体験、高齢者疑似体験
2	5月20日		4年生	認知症サポーター養成講座
3	6月11日	豊松小	5年生	高齢者疑似体験、ユニバーサルデザインについて考えよう
4	1月27日	神石高原中	1年生	車いす体験、高齢者疑似体験
5	3月10日	神石小	3年生 4年生	車いす体験、アイマスク体験
6	3月12日		5年生 6年生	車いす体験、アイマスク体験

③ 福祉協力校との連携

電話や書面において各学校と連携を図り連絡事項等を行った。

対象：町内8校（小学校5校・中学校2校・高等学校1校）

- 内容
- 福祉協力校助成金交付に関する事務の説明
 - 広報誌「にじ」への情報提供及び原稿依頼
 - 青少年赤十字加盟の説明

④ その他

学校と地域サロンの交流

- 地域サロンへ小学校児童が訪問し交流を深める支援

（油木小学校が、仙養豆まめクラブ・小野豆まめクラブへ訪問）

- サロン参加者が小学校の見学・授業参観をして交流を深める支援

（小野豆まめクラブ・安田豆まめクラブが油木小学校へ訪問）

4) 生活支援体制整備事業（神石高原町より受託）

- 生活支援コーディネーターの配置 1名
- 協議体の開催 第1層（町域） 4回

① 7/29

- ・活動計画
- ・移動支援の進捗状況

- ・暮らしのお助け帳見直しの進捗状況
- ② 10 / 21
 - ・暮らしのお助け帳見直しの進捗状況
 - ・暮らしのお助け帳 内容確認
- ③ 12 / 22
 - ・暮らしのお助け帳
- ④ 3 / 9
 - ・活動報告・進捗状況
 - ・活動計画（案）
 - ・介護予防・地域ささえあいサポート拠点整備モデル事業の説明
- 生活支援コーディネーターとして福祉関係諸会議へ参加
- 広報誌「にじ」へ啓発記事の掲載

4 支え合いによる暮らしの安心づくり

1) ボランティアの向上・育成

◆ ボランティアの登録と活動調整

登録者数：個人 163名 団体 3団体 16名

活動件数：728件

活動内容：小地域サロン支援、地域交流活動 等

◆ ボランティア保険の加入事務と周知

2) 神石さわやかネット

在宅で援助を必要とする人の福祉ニーズ（要望）に対応するための住民参画による日常生活支援サービス事業です。各地域の依頼内容とさわやかさんの調整にあたりと共に、さわやかさんの仲間づくりを目的とした交流会を開催しました。

○ 令和7年度実績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

さわやか登録者数：64名

利用延数：404件

○ 研修会の開催と参加

◆ 研修交流会

① と き 令和7年12月17日（水）

内 容 「神石のたまご産婦人科」の見学及び交流会（峠の茶屋で昼食）

※出産される患者さんが入院されたため、施設内見学が中止となる。

交流会では、困ったことなど事例を挙げ、どのように対応すれば良かったか等の（対応方法）意見を出し合い、解決することができた。

参加者 さわやかさん 11名

3) 日常生活自立支援事業をはじめとする権利擁護事業の推進

① 福祉サービス利用援助事業（広島県社会福祉協議会より受託）

○ 問い合わせ件数・・・2件

○ 相談件数・・・・・・・3件

○ 契約後の延べ支援数・・・259件

○ 利用者数・・・・・・・11名（令和8年3月31日現在）

○ 契約及び契約終了件数・・・新規契約1件・契約終了2件

○ 生活支援員・・・・・・・4名（各地域1名）

○ 広報誌「にじ」へ「かけはし」について掲載・・・1回

② 法人後見事業

- 相談件数・・・1件
- 申し立て検討会議・・・0回
- 無料相談会

・令和8年1月21日

司法書士による相談会（相談件数4件）

4) 各種貸出事業による日常生活支援の推進

① 介護用品、福祉制度に関する情報の提供

- ② ベッド・車イスの数量確保（福祉ベッド3台新規購入、介助型車イス5台新規購入、介助バー3本新規購入、地域の方より自走式車イス1台新品寄付、ツルハグループより自走式車イス1台新品寄付）

③ 各種貸出事業

◆福祉器具の紹介・貸与

日常生活用具の新規貸出（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

貸出器具名	新規貸出件数
車いす	20
ベッド	26
サイドテーブル	2
歩行器	1

◆福祉車両の貸出 利用件数 4件

◆視覚障害者・弱視者に対して朗読ボランティア「こだまの会」で作成された録音テープの貸出と設置

貸出：広報神石高原町（12回）、こだまだより（3回）、社協だより（4回）を複製し、希望者へ貸出

○ 延べ 50回 ○利用者 3名

設置：小島交流会館に貸出用テープを設置

5) 各種資金貸付事業（広島県社会福祉協議会より受託）

◆生活福祉資金の相談・申請・決定件数（毎月県社協へ件数報告）

資金種類	相談件数	申請件数	貸付決定件数
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	0	0	0
福祉資金（緊急小口資金）	3	0	0
教育支援資金	0	0	0
不動産担保型生活資金	0	0	0
合計	3	0	0

◆資金貸付調査委員会・・・開催なし

◆償還に関する事務・・・催促状の送付、生活状況確認（アンケート調査の実施）

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金（コロナ特例貸付）にかかる償還に関してのフォローアップ支援の実施

○ 延べ支援活動数・・・46件

○ 利用者数・・・・・・13名

5 生活困窮者自立相談支援事業

○くらしサポートセンター神石高原（相談窓口）の設置

○新規相談受付件数 10件 ○相談件数延べ 76件

6 就労準備支援事業

福祉事務所及びキャステムと連携

利用者が作成した虫かご（@ 35 円～40 円）の完成品の納品や部品等の受け渡し
サツマイモの植えつけ（紅はるか400 本）から収穫・販売・調理までを利用者と
協働して行う社会参加の支援

○ 6 / 2 苗植え 参加者 4 名

○ 7 / 3 草取り 参加者 4 名

○ 8 / 1 草取り 参加者 3 名

○ 10 / 6 いも堀り 参加者 5 名

○ 12 / 6 販売 参加者 3 名

（道の駅さんわ 182 ステーション 焼き芋 1 本 100 円、生のさつまいも 1 kg 200 円）

○ 2 / 17 調理実習 参加者 5 名

7 家計改善支援事業

生活困窮者からの家計の相談に応じ、家計表の作成をし、相談者自身が家計の状況を理解し、自ら家計管理できるよう支援を実施

新規相談件数 3 件

8 フードマッチング事業（広島県と食品の提供・譲渡に関する合意書締結）

子どもの朝食喫食率向上のため、生活相談等あった世帯に対し協力企業からの食品を提供

○ 提供世帯延べ数

食材提供状況	提供世帯（延べ）
カロリーメイトブロック	73
シリアル各種	72
フリーズドライみそ汁	72
豆乳	72

9 地域人材確保推進体制整備事業の実施

福祉・介護人材の確保・育成・定着に向けた取り組みを関係機関と協議し、ケアパートナーの確保に向けての啓発を図った。

◆広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会に参画し、関係機関との連携、情報交換を行い、効率的な人材確保対策につながるよう取り組んだ。

○ 「ゆきふるさとまつり」に紹介ブースを出展し、ケアパートナーについてチラシ・パンフレット等で周知、啓発

○ 「とよまつフェスティバル」・「さんわふるさとフェア」にてケアパートナー募集のポケットティッシュ配布

10 居場所づくりの推進

きっかけづくり応援事業【広島県社会福祉協議会との事業】

◆地域のだれもが安心して歳を重ねていけるよう、高齢者をはじめ、さまざまな世代の人が身近な地域で関わってみたい活動へ参加するきっかけをつくる。

◆地域で暮らす人たちが社会的に孤立することなく、何らかの役割と居場所、つながりを持ち続けられる場面を拡充していくことを目指す。

(1) コーヒーボランティア養成講座①(9 / 4)

参加者 15 名

(2) コーヒーボランティア養成講座②(10 / 2)

参加者 18 名

- (3) 多世代交流①「身近な野鳥を知ろう&巣箱づくり」(10/18) 参加者42名
 (4) 多世代交流②「みんなで自然遊び体験」(11/29) 参加者32名
 (5) 多世代交流③コーヒーボランティア養成講座③「地域食堂・コーヒーボランティアを体験しよう」(12/25) 参加者59名
 令和8年4月から、毎月1回活動することが決定。

1.1 共同募金運動への協力と共同募金配分金事業

1) 広島県共同募金会神石高原町委員会の事務局を担当(各分室を含む)

◆令和7年度実績(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

	募金額(円)
戸別募金	1,292,487
職域募金	266,208
募金箱等	69,422
合計	1,628,117

2) 令和7年度共同募金一般配分金

令和6年度配分金(1,069,657円)・令和7年度地域特例配分金(106,966円)は地区社協、学校、各種団体に事業費として配分

助成先団体	配分金額	主な活動
子育てサークル「カンガルークラブ」	40,000	親子の交流
神石高原町知的障害者家族会	30,000	芸術を楽しむ会
朗読ボランティアこだまの会	30,000	広報誌等の朗読ボランティア
高光自治振興会	12,000	高光地区活性化活動(無線ルーター購入)
木津和老人クラブ	97,000	木津和地区防犯対策(防犯カメラ購入)
小畠福寿会	58,000	高齢者の生きがい推進事業(カラオケ購入)
神石高原町社会福祉協議会	650,000	地区社協推進事業にて活用
	140,000	福祉教育推進事業にて活用
	106,000	ふれあいサロン事業(モルック・ボッチャ購入)
	13,623	神石さわやかネット(日常生活支援サービス)支援経費
合計	1,176,623	

3) 共同募金運動への協力

1.2 日本赤十字社神石高原町分区の事務局を担当

社資募集事務、義援金の受付と取りまとめ等

- 令和7年度社資総額 1,268,820円(2,549件)
- 義援金の受付と取りまとめ(送金額はすべて日本赤十字社広島県支部へ送金)
 ◆令和6年能登半島義援金 送金額・・・27,755円
- 各講習会の講師調整 2回
- 青少年赤十字加盟の呼びかけと加盟校へ助成
 ◆豊松小学校、神石小学校、三和小学校 (計3校)

1 3 会館の指定管理事業

1) 小島交流会館

1 4 各種団体事務協力（各支部含む）

- 1) 神石高原町民生委員児童委員協議会の事務を担当
・各支部定例会・・・毎月1回開催
- 2) 神石高原町老人クラブ連合会の事務を担当
- 3) 神石高原町原爆被害者友の会の事務を担当
- 4) 神石高原町遺族会の事務を担当
- 5) 神石高原町身体障害者福祉協会の事務を担当
- 6) 神石高原町母子寡婦福祉会の事務を担当

1 5 その他

- 1) シルバー人材センターとの協力（豊松事務所・三和事務所）
- 2) 町内逝去者に対する弔辞